

又全國ノ農村ニ於ケル大衆ノ不平不満ニ對シテ、未ダアマリニモ貧弱ナ經驗デアル。全國會議ハカ、ル起テ速レテ急遽ニ克服スルタメニ、タツターツノ良キ經驗ヲモ充分ニ參考ニシ、全體ノ問題トシテ批判シ、ソノ經驗ヲ他ヘ生カサネバナラス。青森ノ一寒村デ起サレタ飯米闘争ハ、全東北地方一帯ニ捲キ起サレ得ル條件ガ備ハツテキルノダ。如何ニシテソレヲ全國會議ハ取り上ゲルカ？

青森ノ飯米闘争ハ大衆ヲ動員シテ役場ヘ押シカケテキル。ソシテ町會ニ大衆ノ要求ヲソノマ、決議サセタノダ。之ハ實ニ貴重ナ經驗デアル。全國ノ同志諸君ハ斯ウシタ經驗ヲ自分ノ部落デ生カサネバナラナイ。

次ニ沖繩ノ同志ハ嵐山保養院設置問題デ奮ヒ上ツタ大衆的ナ運動ノ先頭ニ立チ、ソノ指導ニ當ツテキル。ソレハ初メ自然發生的ニ羽地、今歸任、本部、名護ノ四ヶ町村ノ大衆ガ水源地ニ癩病院ヲ設置スルノハ反對ダ、ト調印運動ヲ起シ殆ンド沖繩本部ノ半分ヲマトメ

請願運動ノ形デ二ヶ年間續ケラレテ來タ。トコロガ幹部ハ遂ニ村費寄附金等ヲ不正ニ消費シ、陳情ニノミ徒ラニ日ヲ費シテ何等效果ガナイタメニ、一時此ノ運動ハ混亂ニ陥ツテレマツタ。

併シ其後全國會議ハ請願運動デナシニ、直接大衆自身ヲ闘争ニ動員スルコトニ成功シ、五月二十八日五千人餘リヲ動員シテ村民大會ヲ開キ其後モ檢束者奪還ノデモ等ヲ敢行シタ、メ運動ハ急角度ニ發展シ、村改革新同盟ヲ結成シテ闘ツテキル。

之ハ最初、誤ツタ方針ガ取ラレタ故ニ一時運動ヲ混亂サセターツノ經驗デアル。小學校試験所、病院、火葬場等ノ問題ハ全國到ル所デ起リ得ルノダ。ソノ場合我々ハ沖繩ノ闘争ノ經驗ヲ忘レテハナラナイ。

又岡山ニ於ケル差別問題ニ端ヲ發シタ美作農民代表者會議ハ、ソノ後暴反闘争委員會ヲ結成シ、其他種々ナ大衆ノ要求、題目ヲ捉ヘテ大衆ニ働キカケ、次カラ次ノ闘争ヘ大衆ヲ動員シテキル點、實ニ